



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 京王電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9008 URL <http://www.keio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼社長 (氏名) 永田 正
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画本部経理部 経理担当課長 (氏名) 木村 創 (TEL) 042-337-3135
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月16日 配当支払開始予定日 平成27年11月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	202,551	2.9	22,903	20.3	21,622	19.0	14,059	18.9
27年3月期第2四半期	196,912	△0.7	19,042	△1.0	18,169	2.6	11,823	8.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 10,123百万円(△20.4%) 27年3月期第2四半期 12,717百万円(△7.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	23.03	—
27年3月期第2四半期	19.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	775,153	315,395	40.7
27年3月期	782,422	307,726	39.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 315,171百万円 27年3月期 307,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	4.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	417,600	2.3	37,400	10.5	34,700	10.5	19,500	13.1	円 銭 31.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】7ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】7ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	642,754,152株	27年3月期	642,754,152株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	32,168,260株	27年3月期	32,155,003株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	610,590,413株	27年3月期2Q	610,625,414株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、【添付資料】6ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の業績全般

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
連結営業収益	196,912	202,551	5,639	2.9	408,039
連結営業利益	19,042	22,903	3,860	20.3	33,845
連結経常利益	18,169	21,622	3,453	19.0	31,390
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	11,823	14,059	2,235	18.9	17,248
連結E B I T D A	36,191	40,364	4,173	11.5	69,171
連結減価償却費	16,946	17,258	312	1.8	34,921

(注) 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、原材料価格や建設費の上昇が見受けられますが、景気対策や金融政策の効果などを背景に、雇用状況や企業収益が改善しており、緩やかな回復基調が続きました。

このような情勢のもとで、当社グループは、当連結会計年度を初年度とする「京王グループ中期3カ年経営計画」に基づき、鉄道事業の安全性・収益力の向上や沿線の活性化のほか、既存事業の選択と集中や将来の増収にむけた投資など、変化する経営環境に柔軟に対応し、成長の実現に向けた諸施策を推進しております。

その結果、すべてのセグメントで増収・増益となり、連結営業収益は2,025億5千1百万円(前年同期比2.9%増)、連結営業利益は229億3百万円(前年同期比20.3%増)となりました。連結経常利益は216億2千2百万円(前年同期比19.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は140億5千9百万円(前年同期比18.9%増)となりました。

なお、連結E B I T D Aは、403億6千4百万円(前年同期比11.5%増)となりました。

また、連結減価償却費は、172億5千8百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

②当第2四半期連結累計期間の各セグメント別の概況

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
			%			%
運輸業	63,689	65,154	2.3	8,326	10,115	21.5
流通業	76,406	77,149	1.0	2,183	2,745	25.8
不動産業	16,163	17,751	9.8	4,867	5,166	6.2
レジャー・サービス業	35,151	36,507	3.9	3,429	4,123	20.3
その他業	18,809	21,631	15.0	178	782	337.5
計	210,220	218,194	3.8	18,985	22,934	20.8
連結修正	△13,308	△15,643	—	57	△31	—
連結	196,912	202,551	2.9	19,042	22,903	20.3

(運輸業)

鉄道事業では、雇用情勢の改善や、前期において、消費税率引上げ前の駆け込み購入の反動減があったことなどにより、旅客運輸収入は2.9%増(うち定期4.0%増、定期外2.1%増)となりました。バス事業では、路線・高速で増収となりました。これらの結果、営業収益は651億5千4百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は101億1千5百万円(前年同期比21.5%増)となりました。

(流通業)

ストア業では、既存店が好調に推移したため増収となりました。また、ショッピングセンター事業では、本年4月に開業した「フレンテ笹塚」が寄与したことなどにより増収となりました。これらの結果、営業収益は771億4千9百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は27億4千5百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

(不動産業)

不動産賃貸業では、本年3月に竣工した「メルクマール京王笹塚」が寄与したことなどにより増収となりました。また、不動産販売業では、八王子みなみ野シティ土地の販売が増加したことにより増収となりました。これらの結果、営業収益は177億5千1百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は51億6千6百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

(レジャー・サービス業)

ホテル業では、「京王プラザホテル」で外国人利用客の取込み等により客室単価が向上したほか、「京王プレッソイン」では既存店が好調に推移したことに加え、本年7月に開業した「京王プレッソイン赤坂」が寄与したことなどにより増収となりました。これらの結果、営業収益は365億7百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は41億2千3百万円(前年同期比20.3%増)となりました。

(その他業)

建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は216億3千1百万円(前年同期比15.0%増)、営業利益は7億8千2百万円(前年同期比337.5%増)となりました。

[鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入]

			前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比(%)
輸送人員	定期	千人	186,289	196,134	5.3
	定期外	〃	131,092	133,991	2.2
	計	〃	317,381	330,125	4.0
旅客運輸収入	定期	百万円	16,770	17,438	4.0
	定期外	〃	22,381	22,851	2.1
	計	〃	39,152	40,289	2.9

[業種別営業収益]

(単位：百万円)

	業種別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
運輸業	鉄道事業	40,960	41,981	2.5	81,908
	バス事業	17,531	18,078	3.1	34,547
	タクシー業	6,284	6,272	△0.2	12,655
	その他	1,306	1,330	1.8	2,728
	消去	△2,393	△2,508	—	△4,952
	営業収益	63,689	65,154	2.3	126,887
	営業利益	8,326	10,115	21.5	12,279
流通業	百貨店業	40,917	41,160	0.6	86,977
	ストア業	18,646	19,149	2.7	38,060
	書籍販売業	4,523	4,179	△7.6	9,087
	駅売店業	3,953	3,856	△2.5	7,639
	ショッピングセンター事業	6,197	6,553	5.8	12,424
	その他	5,629	5,723	1.7	11,751
	消去	△3,461	△3,472	—	△6,842
	営業収益	76,406	77,149	1.0	159,097
	営業利益	2,183	2,745	25.8	4,809
不動産業	不動産賃貸業	14,980	15,770	5.3	30,240
	不動産販売業	4,665	4,918	5.4	14,371
	その他	631	743	17.8	1,370
	消去	△4,114	△3,681	—	△8,841
	営業収益	16,163	17,751	9.8	37,141
	営業利益	4,867	5,166	6.2	9,616
レジャー・サービス業	ホテル業	21,876	23,502	7.4	45,389
	旅行業	9,171	9,313	1.6	16,615
	広告代理業	5,674	5,216	△8.1	11,954
	その他	3,200	3,220	0.6	6,032
	消去	△4,770	△4,746	—	△9,681
	営業収益	35,151	36,507	3.9	70,310
	営業利益	3,429	4,123	20.3	5,641
その他業	ビル総合管理業	8,907	9,373	5.2	21,614
	車両整備業	3,532	3,017	△14.6	8,939
	建築・土木業	4,212	6,883	63.4	20,238
	その他	3,098	3,296	6.4	6,516
	消去	△941	△939	—	△3,236
	営業収益	18,809	21,631	15.0	54,072
	営業利益	178	782	337.5	2,295

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減額
総資産	782,422	775,153	△7,269
負債	474,696	459,757	△14,939
純資産	307,726	315,395	7,669
負債及び純資産	782,422	775,153	△7,269
有利子負債	308,157	306,299	△1,857

(注)有利子負債は、借入金 + 社債 + 鉄道建設・運輸施設整備支援機構未払金により算出しております。

当第2四半期連結会計期間の総資産は、売掛金の回収による減少や、投資有価証券の時価評価による減少があったことなどにより72億6千9百万円減少し7,751億5千3百万円となりました。

負債は、工事代金の支払いなどにより149億3千9百万円減少し4,597億5千7百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより76億6千9百万円増加し3,153億9千5百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間の有利子負債は3,062億9千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：億円)

	当連結会計年度 (予想) 【前回公表値】	当連結会計年度 (予想)	対前回公表値 増減率	(参考) 対前期増減率
連結営業収益	4,110	4,176	1.6%	2.3%
連結営業利益	341	374	9.7%	10.5%
連結経常利益	309	347	12.3%	10.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	184	195	6.0%	13.1%
連結E B I T D A	694	734	5.7%	6.1%
連結減価償却費	349	355	1.6%	1.7%

(注) 1. 前回公表値は平成27年4月30日公表の当期の業績予想であります。

2. 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	当連結会計年度 (予想)	対前回公表値 増減率	(参考) 対前期増減率	当連結会計年度 (予想)	対前回公表値 増減率	(参考) 対前期増減率
運輸業	1,292	1.2%	1.9%	154	12.8%	25.7%
流通業	1,602	1.1%	0.7%	39	7.9%	△17.3%
不動産業	400	△0.5%	7.8%	92	2.7%	△3.7%
レジャー・サービス業	732	2.0%	4.1%	65	5.7%	15.4%
その他業	566	2.7%	4.8%	30	41.6%	34.8%
計	4,594	1.3%	2.7%	382	10.2%	10.5%
連結修正	△418	-	-	△7	-	-
連結	4,176	1.6%	2.3%	374	9.7%	10.5%

最近の業績動向および当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、当連結会計年度の連結業績予想について、平成27年4月30日公表の予想(前回公表値)を以下に記載のとおり修正しております。

連結営業収益は4,176億円(前回公表値比1.6%増)を見込んでおります。セグメント別に見ますと、運輸業は鉄道事業の増収などにより1,292億円(前回公表値比1.2%増)、流通業はストア業や百貨店業の増収などにより1,602億円(前回公表値比1.1%増)、不動産業は不動産販売業の減収などにより400億円(前回公表値比0.5%減)、レジャー・サービス業はホテル業の増収などにより732億円(前回公表値比2.0%増)、その他業は建築・土木業やビル総合管理業の受注増などにより566億円(前回公表値比2.7%増)を見込んでおります。

利益面では、連結営業利益は鉄道事業やホテル業における増収などにより374億円(前回公表値比9.7%増)、連結経常利益は347億円(前回公表値比12.3%増)を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益は195億円(前回公表値比6.0%増)を見込んでおります。

なお、連結E B I T D Aは734億円(前回公表値比5.7%増)を見込んでおります。

(注) 連結業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,744	33,161
受取手形及び売掛金	33,186	27,783
有価証券	30,050	29,798
商品及び製品	13,942	13,634
仕掛品	9,698	14,769
原材料及び貯蔵品	1,856	2,020
その他	9,806	9,800
貸倒引当金	△87	△112
流動資産合計	133,196	130,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	321,921	318,379
土地	188,139	188,602
建設仮勘定	14,230	19,015
その他(純額)	41,398	40,013
有形固定資産合計	565,689	566,010
無形固定資産		
	9,862	8,896
投資その他の資産		
投資有価証券	53,695	49,065
その他	20,163	20,511
貸倒引当金	△185	△186
投資その他の資産合計	73,674	69,390
固定資産合計	649,226	644,297
資産合計	782,422	775,153

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,478	13,387
短期借入金	66,572	67,594
1年内償還予定の社債	-	9,901
未払法人税等	4,412	7,841
引当金	4,267	7,675
その他	82,815	66,696
流動負債合計	175,546	173,096
固定負債		
社債	109,803	100,000
長期借入金	131,778	128,801
退職給付に係る負債	20,236	20,376
その他	37,330	37,482
固定負債合計	299,149	286,660
負債合計	474,696	459,757
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,009	42,009
利益剰余金	204,647	216,264
自己株式	△19,456	△19,469
株主資本合計	286,223	297,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,287	14,216
為替換算調整勘定	11	12
退職給付に係る調整累計額	3,982	3,114
その他の包括利益累計額合計	21,281	17,343
非支配株主持分	220	224
純資産合計	307,726	315,395
負債純資産合計	782,422	775,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業収益	196,912	202,551
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	155,505	157,169
販売費及び一般管理費	22,364	22,479
営業費合計	177,869	179,648
営業利益	19,042	22,903
営業外収益		
受取利息	40	30
受取配当金	753	622
匿名組合投資利益	435	-
雑収入	392	404
営業外収益合計	1,622	1,058
営業外費用		
支払利息	2,379	2,164
持分法による投資損失	1	12
雑支出	113	161
営業外費用合計	2,495	2,338
経常利益	18,169	21,622
特別利益		
固定資産売却益	35	135
受取損害賠償金	-	91
工事負担金等受入額	2,227	88
その他	529	53
特別利益合計	2,792	369
特別損失		
固定資産除却損	75	270
退職加算金等	-	122
固定資産圧縮損	2,228	91
その他	6	94
特別損失合計	2,310	578
税金等調整前四半期純利益	18,651	21,413
法人税等	6,822	7,350
四半期純利益	11,828	14,062
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,823	14,059

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	11,828	14,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,480	△3,071
退職給付に係る調整額	△591	△867
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	888	△3,938
四半期包括利益	12,717	10,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,712	10,120
非支配株主に係る四半期包括利益	4	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	63,689	76,406	16,163	35,151	18,809	210,220	△13,308	196,912
セグメント利益	8,326	2,183	4,867	3,429	178	18,985	57	19,042

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	65,154	77,149	17,751	36,507	21,631	218,194	△15,643	202,551
セグメント利益	10,115	2,745	5,166	4,123	782	22,934	△31	22,903

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。